

第 3 章 教 育 施 設



桜台小学校 2 期校舎

1. 学校施設の概要

学 校	敷地面積	建 物									プール	開校記念日
		校 舎					屋 内 運 動 場					
		鉄 筋	鉄骨	木造	計	非木造 保有率	鉄 筋	鉄 骨	計			
小 学 校	伊勢原	12,654	5,678	120		5,798	100.0	831		831	325	M 6. 4. 17
	大 山	11,953	1,645	61		1,706	100.0		854	854	325	M 6. 5. 12
	高部屋	16,580	4,894	45		4,939	100.0		937	937	325	M35. 5. 19
	比々多	13,117	5,415	113		5,528	100.0		935	935	325	M 6. 7. 17
	成 瀬	17,809	5,988	147		6,110	100.0		914	914	359	M12. 5. 20
	大 田	13,571	5,094	151		5,245	100.0		934	934	325	M 5. 3. 10
	桜 台	23,514	6,711	34	73	6,818	98.9	1,430		1,430	325	S44. 1. 21
	緑 台	19,848	4,075	32		4,107	100.0		849	849	325	S53. 4. 10
	竹 園	19,148	4,400	36		4,436	100.0	833		833	325	S53. 4. 10
	石 田	26,052	8,980	26		9,006	100.0	1,399		1,399	359	H11. 5. 15
計	174,246	52,855	765	73	53,693	100.0	4,493	5,423	9,916	3,318		
中 学 校	山 王	28,066	6,513	231	58	6,802	99.1		1,495	1,495	325	S37. 1. 8
	成 瀬	34,310	8,030	100	60	8,190	99.3		1,419	1,419	325	S22. 3. 3
	伊勢原	31,141	8,273	364		8,637	100.0	1,293		1,293	325	S50. 4. 22
	中 沢	26,963	6,581			6,581	100.0		1,081	1,081	325	S57. 4. 10
	計	120,480	29,397	695	118	30,210	99.6	1,293	3,995	5,288	1,300	

2. 社会教育施設の概要

(1) 公民館

館 名	所 在 地 (電 話)	建 設 年 月	開 館 年 月	施 設		その他収容人数等
				敷 地 数	建 物 面 積	
中央公民館	東大竹一丁目21-1 93-7500	平成 3年10月	平成 3年10月	1,417	鉄筋4階(-隣静) 地下1階3,496㎡	展示ホール 350人 レクリエーション室 230人 美術工芸室 和室・茶室ほか
大山 "	大山303-1 93-5708	昭和 53年3月	昭和 50年4月	411	鉄筋2階 415.77㎡	集会室 18人 学習室 18人 和室12畳 講義室 150人 図書資料室
大田 "	下谷1473 95-4375	昭和 54年3月	昭和 50年4月	915	鉄筋2階 521.18㎡	会議室 20人 学習室 18人 和室15畳 講義室 150人 図書資料室
成瀬 "	高森1840-2 95-1096	昭和 55年3月	昭和 29年12月	1,203	鉄筋2階 726.28㎡	集会室 48人 学習室 20人 和室22畳 講義室 130人 図書資料室
比々多 "	坪ノ内307 92-6961	昭和 56年3月	昭和 50年4月	1,784	鉄筋2階 623.74㎡	集会室 18人 学習室 36人 和室24畳 講義室 180人 図書資料室
高部屋 "	西富岡1143-1 94-3857	昭和 57年3月	昭和 50年4月	1,698	鉄筋2階 729.41㎡	集会室 38人 学習室 18人 和室33畳 講義室 180人 料理実習室 美術工芸室 ほか
伊勢原南 "	東大竹854 92-1210	昭和 59年3月	昭和 59年4月	1,735	鉄筋2階 757.01㎡	集会室 40人 学習室 20人 和室33畳 講義室 180人 図書資料室

※休館日：月曜、祝日、年末年始。ただし中央公民館は第1、3月曜及び文化の日を開館します。

(2) 体育施設

施設名	所在地	開設年月日	施設規模	使用料
武道館	伊勢原3-17-30	昭和61年 3月1日	延床面積 1,108.62㎡	
			剣道場2面 325.01㎡	1面1時間 300円
			柔道場1面 211.41㎡ (128畳)	1面1時間 300円
			会議室 58.52㎡	1室1時間 200円
中沢中学校 夜間照明設備	下糟屋231-1	昭和60年 8月24日	グラウンド面積 12,360㎡	1時間 2,000円
石田小学校 夜間照明設備	石田1168-1	平成11年 6月1日	グラウンド面積 11,000㎡	1時間 2,000円
こどもスポーツ 広 場	神戸120	平成元年 7月1日	グラウンド面積 10,000㎡	無 料
大田すこやか スポーツ広場	下谷1475-1	平成2年 7月21日	グラウンド面積 8,738㎡	無 料
上満寺多目的 スポーツ広場	神戸1-1	平成28年 4月1日	グラウンド面積 4,200㎡	無 料

※武道館は月曜日（ただし、月曜日が祝日の時は開館）、年末年始休館。

(3) 図書館・子ども科学館

所在地・電話	開設年月日	施設	
		敷 地	建 物 面 積
田中76 図書館 92-3500 子ども科学館 92-3600	平成元年4月	3,889㎡	鉄筋（一部鉄骨）コンクリート造 地下2階 地上4階 ペントハウス2階 8,036㎡

※休館日 月曜（図書館は祝日、子ども科学館は祝日と夏休み期間中は除く）、第一水曜、祝日の翌日（祝日の翌日が土、日、月の場合は火曜）、資料特別整理期間（図書館）・展示物総合点検日（子ども科学館）、年末年始。

(4) 青少年センター

所在地・電話	開設年月日	施設		室名・定員
		敷 地	建 物 面 積	
田中316-1 94-7171	平成7年4月12日	3,466㎡	本館（鉄筋）3階 体育館、弓道場 2, 265㎡	集会室 100人 音楽室 24人 工芸室 20人 和 室 24人 学習室 54人

※ 休館日 月曜（ただし、月1回程度の施設メンテナンス日を除いては臨時開館）、年末年始。

(5) 青少年健全育成施設

①児童遊園・青少年広場

No.	施設名	所在地	開設年月日	敷地面積
1	笠窪児童遊園	笠窪503～505	昭和 41. 2	1,236㎡
2	白根 "	白根426	41.12	222
3	大原 "	桜台1-31-5	41.12	873
4	下落合 "	下落合647	42.11	612
5	三ノ宮 "	三ノ宮888-1	45. 3	165
6	沼目 "	沼目2-3-28	45.10	413
7	高森 "	高森523	47. 3	330
8	高森台 "	高森台2-1-76	48.12	190
9	大田青少年広場	沼目6-1488-1	54. 4	1,995.26
10	千津 "	東大竹280-1	59.10	2,338.75
11	殿村 "	板戸172	61.10	1,820

※No.2はH18.10.1所在地を変更

②児童館

No.	施設名	所在地	開設年月日	敷地面積	建物の構造	延面積
1	善波児童館	善波738	昭和 38. 3	844㎡	木造平屋建	177.21㎡
2	三ノ宮 "	三ノ宮888-1	42. 3	496	"	161.98
3	大原 "	桜台1-31-5	44. 3	1,144	"	280.72
4	沼目 "	沼目2-3-28	44.12	813	"	173.26
5	中央 "	伊勢原1-5-12	47. 3	273	木造2階建	171.41
6	高森 "	高森523	47. 3	342	木造平屋建	168.48
7	下谷 "	下谷561	47.12	489	"	163.60
8	高森台 "	高森台2-1-76	48.12	354	"	164.43
9	つきみの "	沼目4-24-1	49. 2	648	"	163.60
10	七五三引 "	上粕屋790-イ	51. 3	495	"	163.60
11	藤野 "	日向1278	53. 3	511	"	165.62
12	子易 "	子易369	56. 4	389	木造2階建	153.35
13	板戸 "	板戸831-9	平成 5. 3	373	"	254.56

※休館日 火曜、国民の祝日、年末年始。

(6) 日向ふれあい学習センター

所在地・電話	開設年月日	施設		室名・定員(面積)
		敷地	建物面積	
日向2191 92-1074	平成11年4月	9,428㎡	本館 鉄筋(一部木造) 地下1階 地上2階 研修室1階 1,002.24㎡	研修室 (120㎡) 集会室 60人 宿泊室 60人 大浴場 10人 小浴場 4人 陶芸窯 1基 野外炊飯場 6区画 バーベキュー場 8区画

※休館日 火曜、国民の祝日の翌日、年末年始。

第4章 学校教育



中学校食育授業

1. 市内小中学校一覧表

() 内の数字は前年度との比較

小学校

(平成30年5月1日現在)

校名	所在地	児童数 (人)	学級数	県費教職員数(人)					市費教職員数(人)			
				校長・ 教諭	養護 教諭	学校 栄養 職員	学校 事務 職員	計	校務 整備 員	学校 栄養 職員	給食 調理 員	計
伊勢原	伊勢原4-1-1	630 (△34)	24	34 (3)	1	※3 1	1	37 (3)	※1 2	0	※2 10	12
大山	大山209	57 (4)	8	11	1	0	1	13	1	1	2	4
高部屋	西富岡1090-1	453 (△3)	18 (1)	25 (1)	1	0	1	27 (1)	※1 2	1	※2 8 (1)	11 (1)
比々多	神戸521-1	613 (△17)	22	29 (△1)	1	1	1	32 (△1)	※1 2	0	※2 9	11
成瀬	高森1481-3	727 (28)	28	35 (1)	1	1	2	39 (1)	※1 2	0	※2 9	11
大田	下谷1471-1	508 (20)	23 (2)	30 (2)	1	0	1	32 (2)	※1 2	1	※2 7	10
桜台	桜台4-16-1	626 (1)	26 (1)	38 (2)	1	1	1	41 (2)	※1 2	0	※2 10 (1)	12 (1)
緑台	高森482	317	14	19 (△1)	1	0	1	21 (△1)	※1 2	1	※2 5	8
竹園	岡崎6611-1	493 (△25)	20 (△1)	27	1	1	1	30	※1 2	0	※2 8 (△1)	10 (△1)
石田	石田1168-1	502 (△20)	22 (1)	28	1	※3 1	2	32	※1 2	0	※2 8	10
合 計		4,926 (△46)	205 (4)	276 (7)	10	6	12	304 (7)	延べ人数 19	4	延べ人数 76 (1)	99 (1)

※1 臨時職員等2名での交替勤務

※2 再任用職員(8名)及び臨時職員(調理補助員41名)による交替勤務を含む

※3 栄養教諭配置

中学校

(平成30年5月1日現在)

校名	所在地	生徒数 (人)	学級数	県費教職員数 (人)					市費教職員数 (人)			
				校長・ 教諭	養護 教諭	学校 栄養 職員	学校 事務 職員	計	校務 整備 員	学校 栄養 職員	給食 調理 員	計
山王	上粕屋804-2	605 (△22)	20 (1)	39 (3)	1	0	2	42 (3)	1	0	0	1
成瀬	高森2-22-1	655 (△18)	20 (△2)	38 (△1)	1	0	1 (△1)	40 (△2)	1	0	0	1
伊勢原	桜台4-2-1	797 (△45)	26 (△1)	47.5 (△1)	1 (△1)	0	2	50.5 (△2)	1	0	0	1
中沢	下糟屋231-1	376 (3)	16 (1)	30.5 (2)	1	0	2	33.5 (2)	1	0	0	1
合計		2,433 (△82)	82 (△1)	155 (3)	4 (△1)	0	7 (△1)	166 (1)	4	0	0	4

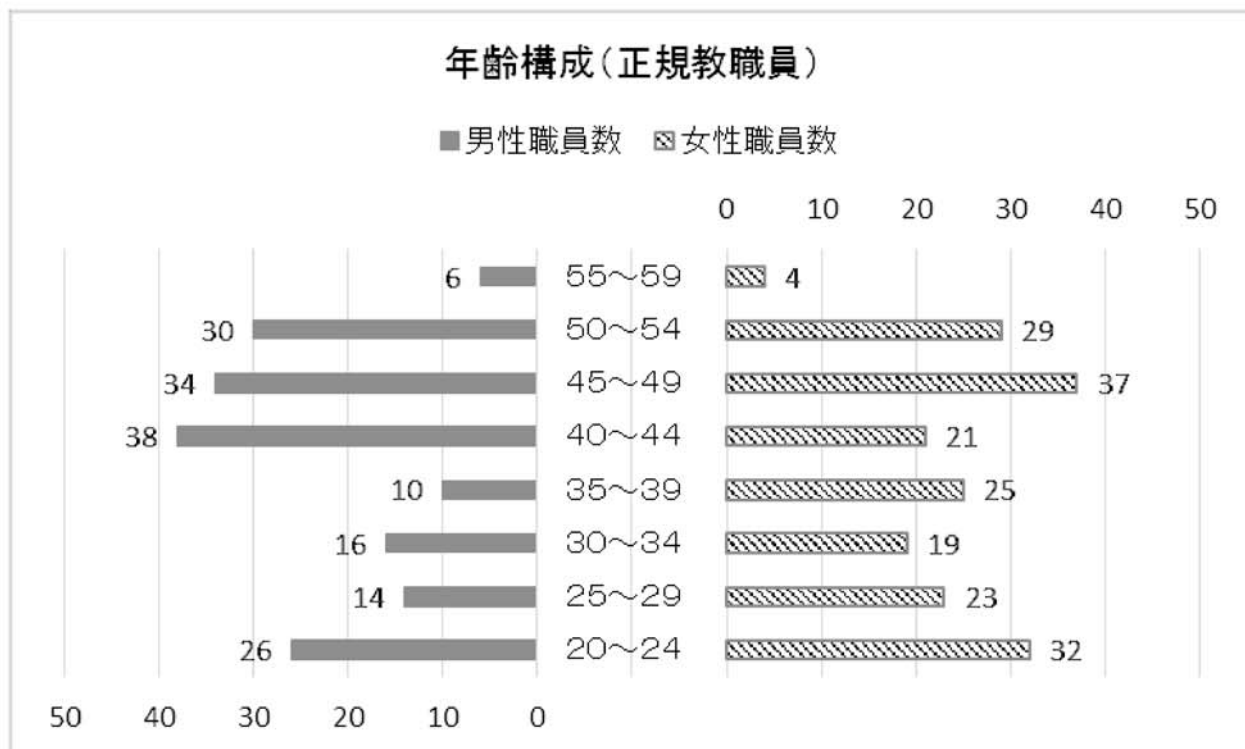
小・中学校合計

(平成30年5月1日現在)

児童・ 生徒数 (人)	学級数	県費教職員数 (人)					市費教職員数 (人)			
		校長・ 教諭	養護 教諭	学校 栄養 職員	学校 事務 職員	計	校務 整備 員	学校 栄養 職員	給食 調理 員	計
7,359 (△128)	287 (3)	431 (10)	14 (△1)	6	19 (△1)	470 (8)	延べ人数 23	4	延べ人数 76 (1)	103 (1)

2. 市内県費教職員の年齢構成

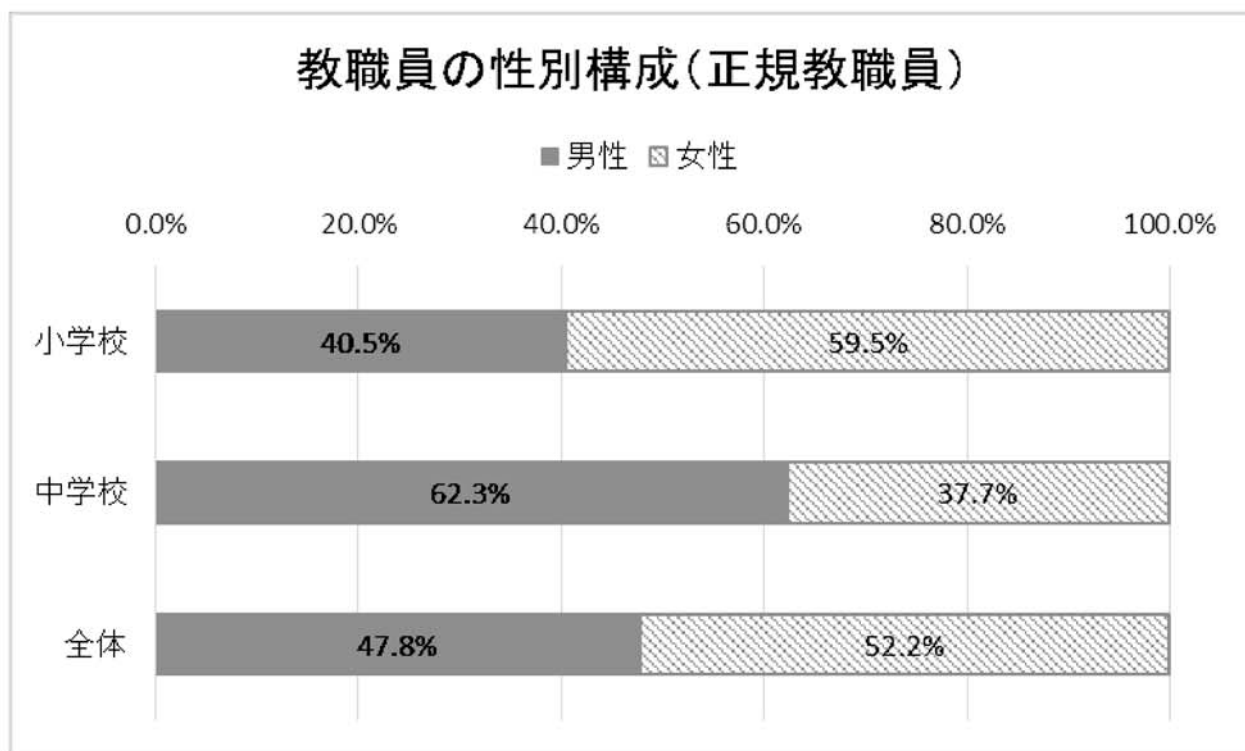
(平成30年4月1日現在)



男性平均年齢 39.1歳(40.0歳) 女性平均年齢 41.2歳(40.7歳)
 全体平均年齢 40.2歳(40.4歳)

※ () は昨年度の平均年齢

《教職員の性別構成》対象者：正規教職員








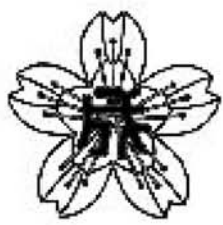



3. 市内小中学校紹介

小学校 ※各学校の教育目標は、教育基本法、学校教育法、その他関係教育法令に基づいています。
(平成30年4月1日現在)











学校	教育目標	研究主題
伊勢原小学校	「豊かな心と確かな学力をそなえ、健康でたくましい子どもの育成」 ～ 高い心をもとうよ 広い心をもとうよ ～ 1 明るく、思いやりのある子（徳） 2 自ら学び、なかまと学ぶ子（知） 3 健康で、たくましい子（体）	◎研究テーマ 「自他の思いを大切にし、よりよく生きようとする児童の育成」 ～自分と向き合う道徳の授業を中心に～ 道徳教育の目標に基づき、道徳性を養うための指導と評価のあり方について、研究を深める。
大山小学校	未来を創る子どもたちの育成 ～郷土を愛しグローバルに活躍できる素地を培う～ 学校目標「笑顔咲く大山小学校」 ○考える子 ・自分で考え判断する子 ・自分の思いを表現する子 ○思いやる子 ・人の気持ちによりそう子 ○たくましい子 ・困難を乗り越え行動する子 ・心身共に健康な子	◎研究テーマ 「人の思いを受けとめ自分の思いを表現できる子の育成」 ○ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育む ○表現力・発信力・コミュニケーション能力を育む 〈育てていきたい力〉 ・コミュニケーションを楽しむ心 ・失敗を恐れない積極性 ・相手を受け入れる受容力 ・伝えるための技能や知識 〈取組の内容〉 ・外国語教育の充実 ・ふるさとの自然体験、地域の伝統文化の学習 ・ICT機器の利活用
高部屋小学校	「思いを言葉で伝え合う高部屋っ子」 ○自分の思いを相手にわかるように伝えようとする子 ○相手の話や意見をしっかり聞ける子 ○学習の中で身に付けた力を生活の中で生かせる子 ①確かな学力をつける ②豊かな心の育成 ③健康や体力の向上 ④安全な学校づくり ⑤支援教育の充実 ⑥校内研究の充実 ⑦開かれた学校の推進	◎研究テーマ 「話そう 聞こう 深めよう 学び合う子の育成をめざして」 ○自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、みんなが明るく楽しい学校づくりができることをめざす。 ○教育活動全般を通じて、自他を尊重し、自己有用感を高め、自己のよりよい生き方を身に付ける。 ○コミュニケーション力、人間関係調整力、共感的理解力の3つの力の育成の研究を推進する。
比々多小学校	○比々多プライド（母校愛と誇り）と自己肯定感を持ち、思いやりのある子 ○自他の健康や安全に気をつけ、命を大切に、元気に活動する子 ○よく聴き、よく考え、正しく判断して活動する子 ＜全校スローガン＞ 「こころ元気 からだ元気 あたま元気」	◎研究テーマ 「ともに考え、豊かに生き生きと表現する子の育成」 本校では、考え合う、伝え合う、聴き合う、つなげ合う、助け合う、理解し合うなどの学び合いを通して、児童がともに学ぶ楽しさを実感できる授業の実践に取り組んでいる。各教科における学習の進め方や発言・発表の仕方等を学ぶことで、児童が自分たちの考えを表現し、つなげ合うことができるようになることを目標としている。
成瀬小学校	《生きる力の育成》 人間尊重・基本的人権の尊重を基盤として、地域社会の特性や実態を踏まえ、確かな力と広い心を持ち、たくましく生きる児童の育成に努める。 ○(知) よく考える子 〈かしこく〉 ・話をしっかり聴き、気持ちや考えを表現できる子 ・自分の良さを知り、自分らしく生きる子 ○(徳) 思いやりのある子 〈やさしく〉 ・友だちを思いやり、勇気をもって正しい行動がとれる子 ・友だちと仲良く、はげましあう子 ○(体) たくましい子 〈げんきよく〉 ・いきいきと元気に活動し、自ら健康増進に努める子 ・きちんとした生活習慣で過ごせる子	◎研究テーマ 「豊かに関わり合い、共に学び合う子を目指して」 ～互いの意見から学びを深める場の工夫～ 本研究では、授業における話し合いや協働的な活動を通して、児童相互が豊かに関わり合い、学び合う授業づくりをめざす。授業研究を進める中で、研究を深めたいと考えている。

小学校

	校章	校舎全景
伊勢原小学校		
大山小学校		
高部屋小学校		
比々多小学校		
成瀬小学校		

学校	教 育 目 標	研 究 主 題
大田小学校	<p>教育基本法・学校教育法等に基づいた公教育の本旨に則り、地域の社会的・歴史的基盤、児童の実態に即して、知・徳・体の調和のとれた、健康で心豊かな児童の育成に努め、「生きる力」を育む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 よく考える子（知） 2 思いやりのある子（徳） 3 たくましい子（体） 	<p>◎研究テーマ 「主体的に学習に取り組む児童の育成をめざして」 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫～ 児童の実態に即した授業づくりが必要となる資質・能力の育成に取り組む。「導入の工夫」や「視覚化した課題提示」を積極的に行い、「焦点化」「共有化」により学習内容の理解を揃えていく。それにより、自分の考えをもち、主体的に学ぶ児童の育成を進める。授業の相互参観、講師を招聘しての研修会実施など指導力の向上を図る。</p>
桜台小学校	<p>「豊かな自分づくりと、共に生きる人間の育成」 「自己の学びを主体的に創出し、心豊かにたくましく生きていく子どもの育成」 ○自分で学び、考え、行動できる子 ○心豊かな子 ○進んで働く子 ○健康な子</p>	<p>◎研究テーマ 「教科教育における指導方法・指導体制の工夫改善の研究について」（案） 平成32年度の新学習指導要領全面実施に向けて、指導方法や指導体制を研究するにあたり、道徳や外国語等の新たな課題、または特定の教科に特化した研究、あるいは第1学年から第6学年まで全教科に共通するテーマを設ける等、本年度を含む今後3年間の研究の構想を練る。</p>
緑台小学校	<p>豊かな心と確かな学力をそなえ、健康でたくましく、夢の実現に向かって努力する子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 心の豊かな子 ・やさしい心をもち、思いやりのある子 2 進んで学ぶ子 ・よく考え、思いを表現できる子 3 たくましい子 ・運動に親しみ、心身ともに健やかな子 	<p>◎研究テーマ 「自ら学び、考え、豊かに関わり合える力を育てる」 緑台小学校の材（財）を生かしたカリキュラム・マネジメントを通して、研究主題である＜育てたい子ども像「自ら考え行動する子」＞にせまるため、生活・総合、外国語、特別の教科道徳の3つの領域を柱として研究を進める。</p>
竹園小学校	<p>児童と地域の実態に即した創意ある教育活動を推進し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。 【知】知恵のある子 【徳】思いやりのある子 【体】元気でたくましい子 「かしこく、やさしく、たくましく」 ・自ら気付き、考え、判断し、行動できる子 ・善悪の判断ができ、社会生活上のルールを守る子 ・豊かな感性を持つ子 ・自他の人権を尊重し相手を思いやる優しい子 ・人のために進んで働き、自分の責任が果たせる子 ・みんなと助け合って、仲良く行動できる子 ・自らの目標に向かって、やり遂げるまでねばり強くがんばる子 ・自らの健康に気を配り、進んで体力の向上に努める子</p>	<p>◎研究テーマ 「新学習指導要領の視点で考える授業改善を目指して」 ～自ら気付き、考え、判断し行動できる子の育成のために～ 本校の教育目標の達成のために、新学習指導要領で述べられている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、また児童の実態の状況を踏まえながら、各教科等の学びの過程の中で、身に付ける資質・能力を育成するために授業改善に取り組んでいく。 本年度は、児童の実態の状況を把握しながら、わかる喜びを味わわせる授業の工夫や聞く力を付けるための授業改善等、授業改善の視点を探っていく。また新学習指導要領の各教科等の特性に応じた「見方・考え方」を読み解きながら、授業改善の取組を進めていく。</p>
石田小学校	<p>未来を夢みて 笑顔で主体的に取り組む児童の育成 【重点目標】 ◆めざす児童像 「いつも元気で しっかり学び だれにでも優しい 石田っ子」 ◆行動の重点 *自主：思いやりと感謝の心をもって、進んで行動しよう！ *自学：よく聴き、よく考え、しっかり表現しよう！ *自律：心身共に健康でよりよい生活をめざし、最後まで挑戦しよう！</p>	<p>◎研究テーマ 「自分なりの考えを持ち、学び合うことで高め合う子の育ちをめざして」 ～話し合い活動を通して物語文の読みの力を伸ばす～ 物語文の学習において、子どもたちが自分なりの考えをもち、互いの考えを受け止めながら話し合う活動を通して、個々の読みを深める授業をめざす。その方策として、授業における子どもたちの発言内容や教師の関わり方を中心とした教材理解や適切な課題設定等について研究を進める。</p>

小学校

	校 章	校 舎 全 景
大田小学校		
桜台小学校		
緑台小学校		
竹園小学校		
石田小学校		

中学校 ※各学校の教育目標は、教育基本法、学校教育法、その他関係教育法令に基づいています。
(平成30年4月1日現在)

学校	教育目標	研究主題
山王中学校	<p>平和で民主的な国家・社会の形成者として、次世代の社会の中で、心身ともに健康でたくましく生きることのできる、次のような生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生命の尊さを知り、健康増進に努める生徒 2 学問の大切さを知り、勉学に勤しむ生徒 3 自他の立場を考え、思いやりのある生徒 4 自主的精神に満ち、実践力のある生徒 5 郷土を愛し、中学生としての自覚と責任感のある生徒 	<p>◎研究テーマ 基礎学力の定着と活用する力の育成 ～主体的で対話的な深い学びにつなげる授業改善～ 「知識・技能」の構築を目標にした授業研究を通して指導法を工夫し、教職員の授業力向上に努めてきた。そこで、これまでの取り組みを土台として、新学習指導要領の実施を見据え、「身につけさせたい資質や能力」を定着させる授業を展開し、指導法の工夫や授業のしかけを主体的で対話的な深い学びという視点で工夫し、生徒の育成とともに、教職員のスキルアップを図る。</p>
成瀬中学校	<p>知性を高め健康を養い、共に励まし合いながら、将来の進路に向かって優しくたくましく生きる生徒の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 夢や希望を持ち創造力豊かな生徒 2 健康でねばり強く思いやりのある生徒 3 正しい判断力を持ち自主的に社会参加を目指す生徒 	<p>◎研究テーマ 「思考力・判断力・表現力を高め、人との関わりを大切にする人間性豊かな生徒の育成を目指して」 ～教師相互の授業参観による指導力向上～</p>
伊勢原中学校	<p>地域の実情や生徒の実態をふまえ、平和な社会の形成者として、人間性豊かな生徒の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生命の尊さを知り、心身共に健康な生徒 2 お互いの立場を考え、思いやりのある生徒 3 知性を磨き、創造力豊かな生徒 4 主体的に、たくましく生きる生徒 	<p>◎研究テーマ 教師の「授業力」向上を目指して ～生徒一人ひとりに思考力・判断力・表現力が身につく、生徒を主体的に活動させる授業～</p>
中沢中学校	<p>自ら学ぶ力を育む ・自ら学習する意欲、自ら考え判断する力 ・基礎・基本の確実な定着</p> <p>共に生きる力を育む ・思いやりの心、他者の個性の尊重（人権の尊重）と寛容 ・社会貢献の精神、自立心と自己責任、一人ひとりの存在感と集団としての連帯感</p> <p>豊かな心を育む ・豊かな感性（はてなをとらえる感性、美しいものに感動する心） ・コミュニケーション能力（聞く、読む、自己を表現する） ・心身の健康</p>	<p>◎研究テーマ 「自らの考えをもとに、他者と学び、考えを深める生徒の育成」 ～道徳における学び合いと思考の深まりについて～</p>

中学校

	校 章	校 舎 全 景
山王中学校		
成瀬中学校		
伊勢原中学校		
中沢中学校		

4. 特別支援教育

特別支援学級設置校

学校名	種別	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
伊勢原小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	○
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病弱	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
	弱視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎
大山小学校	知的										○	○	○
	情緒									○	○	○	○
高部屋小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情緒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
比々多小学校	知的	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
成瀬小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	肢体												
大田小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	病弱	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
桜台小学校	知的	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
緑台小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情緒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹園小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	弱視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石田小学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	○
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山王中学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	情緒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
成瀬中学校	知的	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
伊勢原中学校	知的	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中沢中学校	知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	肢体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病弱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弱視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情緒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

知的：知的障害学級 肢体：肢体不自由学級 病弱：病弱・身体虚弱学級 弱視：弱視学級
 情緒：自閉症・情緒障害学級 ことば：通級指導教室（ことばの教室） まなび：通級指導教室（まなびの教室）

◎：2学級

平成28年度特別支援学校就学状況（小中学部計）

（H28.5.1現在）

学校名	児童生徒数		
	H27	H28	H28-H27
伊勢原養護学校	22	24	2
平塚養護学校	13	11	△2
平塚ろう学校	3	2	△1
秦野養護学校	2	2	0
横浜南養護学校	0	3	3
平塚盲学校	1	1	0
湘南養護学校	1	1	0
茅ヶ崎養護学校	0	1	1
合 計	42	45	3

5. 平成29年度市内中学校卒業者の進路状況

(H30.5.1実施 進路状況調査による)

(単位：人)

進学者数	就職者数	その他	卒業生徒数
853(△19)	0(△4)	2(△1)	855(△24)

()内は、H28年度との増減数値

進学者の状況

区 分	人 数			公立・私立計(人)			割合(%)			
	H28	H29	H29-H28	H28	H29	H29-H28	H28	H29	H29-H28	
全日制高等学校	公立	610	602	△8	798	798	△11	90.8	92.0	1.2
	私立	188	185	△3						
定時制高等学校	公立	29	20	△9	29	20	△9	3.3	2.3	△1.0
	私立	0	0	0						
通信制高等学校	公立	3	1	△2	30	30	0	3.4	3.5	0.1
	私立	27	29	2						
高等専門学校	1	1	0				0.1	0.1	0	
特別支援学校(高等部)	10	14	4				0.9	1.6	0.7	
専修学校各種学校等	4	1	△3				0.5	0.1	△0.4	

※卒業生の新年度における進学者数

※割合：卒業生徒数全体に対する各区分ごとの進学率。

6. 教職員研修

(教育指導課)
(平成29年度実績)

事業名	回	対象	事業内容
学校経営研修会	2	校長・教頭	学校経営・運営上の諸課題への実践的な対応策について研究協議等を行う
教務担当教員研修会	1	該当教員	創意ある教育課程の編成について研究協議等を行う
全国人権・同和教育研究大会 (島根)	1	該当教員	全国人権・同和教育研究大会に参加し、全国的な状況を把握するとともに人権教育への認識を深める
教育課題別研究会 (三重)	1	該当教員	人権教育の教育課題別研究会に参加し、識見を広め、指導の在り方について理解を深める(旧全人教分野別研究会)
人権教育研修会及び報告会	2	該当教員	人権教育についての理解を深め、指導力の向上に資する
道徳教育推進連絡会	2	該当教員	道徳教育についての研修を通して、各校における道徳教育の推進を図る
情報教育推進連絡会	2	該当教員	教員のICTを活用した指導力の向上および情報モラル等についての意識を高める
学校における食育研修会	1	該当教員	食育に関する指導の在り方等の研修を通して各校における食育の推進を図る
新規採用教員研修会 (2～3回は宿泊研修)	3	新規採用教員	新規採用教員として伊勢原市の教育、教師の心得・服務等について理解し、資質向上を図る
2年次教員研修会 (第3回は学習指導訪問)	3	採用2年次教員	付きたい力を明確にした授業づくり① 学習活動及び学習評価の工夫
3年次教員研修会 (第2回は学習指導訪問)	2	採用3年次教員	付きたい力を明確にした授業づくり② 単元構成と評価計画の工夫
4年次教員研修会	2	採用4年次教員	豊かな人間性を育てるための道徳教育 道徳の時間の授業づくり
5年次教員研修会	2	採用5年次教員	質の高い授業づくり 自身についての振り返りと今後の課題の明確化
10年次教員研修会	2	採用10年次教員	9年間を見通した指導の実践 異校種での1日研修
児童生徒指導研修会	1	該当教員	今日的な諸問題の防止・解決のために研修を行う
養護教諭研修会	1	養護教諭	児童生徒理解や関係諸機関との連携のとり方について研修を深める
教育テーマ別研修会	1	該当教員	インクルーシブ教育研修会を実施し、神奈川のインクルーシブ教育について理解を深める
市費非常勤講師研修会	1	該当教員	非常勤講師として、教師の心得、服務等について理解し、資質向上を図る
指導補助員研修会	2	指導補助員	指導補助員の服務・勤務内容等を研修する

【人権教育研究指定校】

(平成30年4月1日)

年次	学校名	研究主題名	委託年度
1年次	高部屋小学校	「話そう 聞こう 深めよう 学び合う子の育成をめざして」	平成29年～31年度

【教育課程等研究指定校】

(平成30年4月1日)

年次	学校名	研究主題名	委託年度
1年次	桜台小学校	「教科教育における指導方法・指導体制の工夫改善の研究について」(案)	平成30年～32年度
	竹園小学校	新学習指導要領の視点で考える授業改善を目指して ～自ら気づき、考え、判断し行動できる子の育成のために～	平成30年～32年度
2年次	山王中学校	基礎学力の定着と活用する力の育成 ～主体的対話的な深い学びにつなげる授業改善～	平成29年～31年度
3年次	石田小学校	「自分なりの考えを持ち、学び合うことで高め合う 子の育ちをめざして」 ～話し合い活動を通して物語文の読みの力を伸ばす～	平成28年～30年度
	伊勢原中学校	教師の「授業力」向上を目指して ～生徒一人ひとりに思考力・判断力・表現力が身につく、生徒を主体的に活動させる授業～	平成28年～30年度

7. 教育研究

(教育センター)

(1) 指定課題別調査研究（平成30年度）

今日的課題や将来を見据えた課題、地域の特性を活かした素材の調査研究を進め、その成果を全職員と共有し、教育活動の質の向上に資する。

部 会 名	調 査 研 究 内 容
個別教育計画の作成に関する研究部会	特別支援学級在籍児童生徒の連続した学びの一層の充実のため、個別教育計画の作成について研究を行う。 (平成29・30年度)
9年間を見据えた学び方に関する研究部会	9年間の積み上げを意識した指導方法についての研究をもとに、児童生徒が学び方について自身の成長が感じることができるよう、児童生徒向けの資料について研究を行う。 (平成29・30年度)
小学校社会科副読本作成に関する研究部会	平成32年度からの学習指導要領の全面実施に向け、改訂に対応した地域教材となる副読本作成について研究を行う。 (平成30・31年度)
伊勢原の自然に関する研究部会	小学校1年生に配付している小学校生活科・理科副読本「いせはらのしょくぶつ」改訂版の有効な活用についての研究を進める。
情報モラル教育に関する研究部会	児童生徒の情報モラルの向上を目指し、学校と家庭との連携を柱とした取組についての研究を行う。
外国語活動・外国語科の授業づくりに関する研究部会	新教材をもとに、学びの連続性を意識した授業づくりに関する研究を行う。

(2) 自主課題別調査研究の奨励

小中学校教職員を対象とし、自主的な教育課題について研究活動をすすめ、自己研鑽と相互交流を6部会に対して奨励した。

(3) 地域教育機関等連絡協議会

市内の幼稚園・保育所・認定子ども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などが集まり、幼児・児童生徒の発達の段階に伴う生活実態の情報交換や各教育機関等の連携と交流を図った。

◆第1回 代表者、担当者会 5月18日(木) 午後3時30分～午後5時 青少年センター集会室

	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
幼稚園・認定こども園・保育園	大山保育園 高部屋愛育保育園 比々多保育園 伊勢原山王幼稚園	林台保育園 伊勢原ふたば保育園 成瀬幼稚園 中央マドカ幼稚園 東海大学附属本田記念幼稚園	伊勢原愛児園 大原保育園 伊勢原こぼと保育所 伊勢原ひかり幼稚園 伊勢原みのり幼稚園 伊勢原立正幼稚園	中央保育園 ベルガーデン保育園 リスブラン保育園 伊勢原幼稚園 伊勢原白百合幼稚園 伊勢原八雲幼稚園
小・中・高・特別支援学校	大山小学校 高部屋小学校 比々多小学校 山王中学校 伊勢原高等学校	成瀬小学校 緑台小学校 石田小学校 成瀬中学校 伊勢原養護学校 向上高等学校	大田小学校 桜台小学校 竹園小学校 伊勢原中学校 自修館中等教育学校	伊勢原小学校 中沢中学校 伊志田高等学校
市役所	教育指導課・教育センター			

◆第2回 ブロック別 担当者会

【Aブロック】 10月23日(月) 午後2時～午後4時45分 県立伊勢原高等学校

- ・授業、ホームルーム参観
- ・協議「学びの連続性について～高等学校における授業の取組を通して～」

【Bブロック】 9月 5日(火) 午後3時10分～午後4時40分 ふたば保育園

- ・保育見学
- ・協議「あいさつ運動の取組について」

【Cブロック】 9月28日(木) 午後3時30分～午後4時50分 桜台小学校(通級指導教室)

- ・施設見学
- ・協議「幼・保・小・中・高の連携について」

【Dブロック】 9月15日(金) 午後3時～午後4時30分 伊勢原八雲幼稚園

- ・施設見学
- ・協議「各発達段階における関係機関と保護者との関係を考える～家庭との向き合い方～」

◆第3回 全体協議会(第24回伊勢原市教育センター研究発表会との同時開催)

8月18日(金) 午後1時30分～午後5時 東海大学伊勢原キャンパス講堂A

◆第4回 全体協議会活動報告

2月 8日(木) 午後4時～5時 青少年センター集会室

- ・本年度のまとめと次年度に向けての話し合いを行った。

(4) 小中学校教育研究会の運営助成

創意ある教育活動の推進及び当面する教育課題に対応していくため、小中学校教職員の自己研鑽を奨励するとともに、全教職員が携わる各種研究会の活動を助成した。

また、児童生徒の自然体験の充実や文化活動の振興を図り、豊かな情操と集団生活の基礎づくりに資するため、補助・交付事業を行った。

(5) 研究発表会

第2回地域教育機関等連絡協議会と同時開催

日 時 8月18日(水) 午後1時～午後5時

場 所 東海大学伊勢原キャンパス講堂A

参加者 134人

内 容

1部: 姉妹都市(ラミラダ市)教育視察研修報告

2部: 研究発表

発表1 指定課題別調査(ICTを活用した名簿・評価等の校務に関する研究部会)

「校務支援システムの適正な運用やICT機器を利用した授業改善について」

発表2 自主課題別調査研究(よりよい比々多を目指す会)

「学び合いのある職場づくりを目指して」

3部: パネルディスカッション

テーマ 「Let's talk frankly! 何でOJT? だけどOJT 私たちのOJT!」

講 師 東京医療学院大学保健医療学部 客員教授 三浦 修一 氏

8. 教育研修

(教育センター)

(1) 姉妹都市(ラミラダ市)教育視察研修

- 教育視察受入 6月5日(月)～6月9日(金) 来訪者:2名
- 教育視察派遣 10月23日(月)～10月30日(月) 視察者:2名

(2) 夏季自己啓発研修会

○20年次教職経験者(事務職含む)の企画運営による2日間の研修会

	内容・演題	講師・講座趣旨内容等	会場	受講者数
8月2日(水)	講話Ⅰ 教育長講話	伊勢原市教育委員会 鍛代 英雄 教育長	青少年センター 工芸室	8 運営委員
	講座1 「プロジェクトアドベンチャー手法を 生かした学級および学年経営」	講師 株式会社ナカオ考務店 代表 長尾 彰 氏 子ども同士の協働的な活動を通じた学級及び学年づくりを目指し、プロジェクト・アドベンチャープログラムについての実践的な研修を行います。	青少年センター 集会室	39
	講話Ⅱ 「中堅教員としての役割と期待される 姿～不祥事防止の観点から～」	学校教育課 大高 敏夫 担当部長 学校教育課 北島 昌人 人事係長 不祥事に係る現状や事例等を学び、職場の中核を担う立場として、管理職を補佐し、どのような職場作りを行っていくかを考える。	青少年センター 工芸室	8 運営委員
	講座2 「地域防災力向上のために学校が できる ことを考える」	講師 公立大学法人兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 浦川 豪 氏 災害が発生すると学校は避難所等の機能を担うことになります。地域社会における学校、教職員が果たすべき役割と危機管理体制について考えます。	青少年センター 集会室	27
	協議	「これから学校に求められる事と自分の役割について」	青少年センター 工芸室	8 運営委員
8月3日(木)	講座3 「声を出し、音を重ねる気持ち良さを 味わおう」	講師 ヤマハ株式会社厚木楽器声楽ピアノ声楽講師 北村 加奈子 氏 小学校音楽科の教科書教材を用いて、歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う指導の仕方を実技を通して学びます。	青少年センター 集会室	32
	講座4 「認知行動療法～考え方のクセを 知って職場を上手に生かしてみよう」	講師 医療法人弘徳会愛光病院 地域連携支援局心理科科长 大矢 瑞穂 氏 認知行動療法の基本的な考え方を学び、自分自身の認知のクセ、傾向などをチェックリストを使って知ります。	青少年センター 集会室	37
	講話Ⅲ 市長講話	伊勢原市長 高山 松太郎 氏	青少年センター 工芸室	8 運営委員

(3) 学校別教育課題研修講座

内容	講師	日	時間	会場	受講者数	受講者数		
						会場校	他校	合計
外国語活動の次年度先行実施を 控え、準備しておくべきこと	中部学院大学 学事顧問 久埜 百合 氏	8月30日(木)	13:30 ～ 17:00	比々多小学校	55	29	26	55
道徳の教科化に向けて私たちが 取り組むこと	聖徳大学大学院 教職研究科 吉木 恒幸 氏	9月13日(木)	13:45 ～ 17:00	伊勢原小学校	40	31	9	40
発達障害に関する理解と今支援 すべきこと	鶴ヶ峰心理グループ代表 臨床心理士 ヴィヒャルト千佳こ 氏	9月29日(金)	15:15 ～ 17:00	大山小学校	17	12	5	17
考え、議論する道徳の授業作りと 評価	高崎健康福祉大学教授 富岡 栄 氏	11月7日(火)	15:30 ～ 17:00	成瀬中学校	40	36	4	40
子どもたちの可能性を広げるため に～ダンス体験を通じて～	世界とつながるダンス教室 代表 中込 孝規 氏	11月24日(金)	15:30 ～ 17:00	成瀬小学校	36	35	1	36
主体的で対話的な深い学びの実 現に向けた授業改善	東海大学課題資格教育センター 教授 山川 勝久 氏	2月6日(火)	14:10 ～ 17:00	山王中学校	40	38	2	40
これからの人権教育の指導につ いて	国立大学法人東京学芸大学 准教授 林 尚示 氏	2月9日(金)	15:20 ～ 17:00	高部屋小学校	27	24	3	27

(4) 教科指導法研修講座

講座名	内容	講師	日	時間	会場	受講者数
国語科指導法研修講座	物語教材を通して子どもの読みの力を伸ばす～教材をどう生かすか～	元十文字学園女子大学教授 松木 正子 氏	8月8日(火)	10:00 ～ 12:00	伊勢原市青少年センター集会室	39
算数科指導法研修講座	わかる できる 学ぶの大好き 算数の授業づくりのポイント～次期学習指導要領を見据えて～	高知県教育委員会事務局 学力向上総括専門官 齊藤 一弥 氏	7月31日(月)	10:00 ～ 12:00	伊勢原市青少年センター集会室	38
理科指導法研修講座1	授業で活用できる教材作り～宇宙教育の紹介～	国立研究開発法人 宇宙開発機構 宇宙教育推進室 松原 理 氏	8月8日(火)	14:00 ～ 16:00	伊勢原市立子ども科学館	18

(5) 教育課題研修講座

講座名	内容	講師	日	時間	会場	受講者数
小学校外国語活動研修講座	ALTを活用した効果的な授業について	指導主事 須永 尚世 (株)インタラク ALT	8月4日(金)	14:30 ～ 16:30	伊勢原市青少年センター集会室	9
ICT活用研修講座1	ICT機器の授業の活用について	株式会社JMC 野田 剛史 氏	8月23日(水)	9:30 ～ 12:00	中沢中学校	15
ICT活用研修講座2	携帯端末の活用の利便性と危険性について	株式会社教育ネット 大笹 いづみ 氏		13:30 ～ 16:00	中沢中学校	8
教育相談セミナー	発達障害と子どもの虐待	大正大学 教授 玉井 邦夫 氏	8月24日(木)	10:00 ～ 12:00	伊勢原市青少年センター集会室	33
研究発表会 (パネルディスカッション)	Let's Talk Frankly 何でOJT? だけどOJT? 私たちのOJT!	東京医療学院大学 客員教授 三浦修一 氏	8月18日(金)	15:30 ～ 17:00	東海大学伊勢原キャンパス講堂A	134

(6) 支援教育研修会

内容	講師	日	時間	会場
特別支援教育の諸問題や交流のあり方、通常の学級の特別な支援が必要な児童生徒について、講師を招いて理解を深める。	特定非営利活動法人PDDサポートセンター「グリーンフォーレスト」理事長 臨床心理士 篁 一誠 氏	5月15日(月)	13:30 ～ 17:00	山王中
		5月22日(月)		大田小
		6月12日(月)		竹園小
		6月26日(月)		大山小
		9月11日(月)		高部屋小
		9月25日(月)		桜台小
		10月12日(木)		成瀬中

9. 教育相談

(1) 教育相談件数

<主訴別(延べ回数):平成29年4月～平成30年3月>

学年 主な内容	未就学	小学校						中学校			高校	他	総計	昨年度
		1	2	3	4	5	6	1	2	3				
不登校	3	9	137	38	40	118	160	358	326	648	54	1	1892	1477
情緒的不適応行動	9	45	27	29	31	107	53	102	24	2	0	1	430	246
発達の遅れ・偏り	6	38	175	54	161	109	87	111	149	73	3		966	906
友人関係	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	7
家庭教育	1	6	3	29	1	6	46	29	0	6	0	0	127	13
学習・進路	0	0	3	3	0	4	25	0	24	0	0	0	59	11
学校への不満	0	9	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	2	2	15	61
総計	19	107	345	153	236	346	371	611	523	729	59	4	3503	2734

<主訴別(事例数):平成29年4月～平成30年3月>

学年 主な内容	未就学	小学校						中学校			高校	他	総計	昨年度
		1	2	3	4	5	6	1	2	3				
不登校	1	1	5	2	3	7	9	9	18	25	5	1	86	76
情緒的不適応行動	3	3	2	5	5	8	2	5	6	2	0	1	42	25
発達の遅れ・偏り	2	8	21	11	21	15	12	13	9	4	3	0	119	141
友人関係	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
家庭教育	0	1	1	4	1	2	4	3	1	1	0	0	18	3
学習・進路	0	0	1	1	0	1	4	0	1	0	0	0	8	4
学校への不満	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	4	16
総計	6	16	30	23	31	34	31	31	35	32	9	4	282	269

(2) 学校訪問教育相談研修会

学校からの教育相談に応じ、専門家からの助言及び情報の提供を行う。

[講師]

東海大学医学部附属病院精神科 精神科医 高橋有記氏
川崎幸クリニック 臨床心理士 稲富正治氏
明星大学心理学部 教授 臨床心理士 福田憲明氏
東海大学文学部 教授 臨床心理士 中島香澄氏

日	学校	講師
6月29日(木)	伊勢原中学校	中島
8月4日(金)	中沢中学校	中島
9月21日(木)	比々多小学校	高橋
9月25日(月)	成瀬小学校	福田
10月6日(金)	緑台小学校	稲富
11月9日(木)	石田小学校	高橋
1月18日(木)	伊勢原小学校	高橋

(3) 小学校スクールカウンセラーによる教育相談

小学校スクールカウンセラー活動状況(相談延べ回数)<主訴別:平成29年4月～平成30年3月> ()内は事例数

学年 主な内容	小学校						合計
	1	2	3	4	5	6	
長期欠席	17 (2)	41 (5)	8 (3)	18 (3)	4 (3)	48 (8)	136 (24)
自己性格	84 (31)	36 (16)	18 (5)	40 (15)	47 (13)	57 (16)	282 (96)
発達障害	407 (81)	223 (50)	137 (28)	174 (43)	196 (42)	81 (26)	1218 (270)
友人関係	8 (3)	16 (3)	17 (4)	12 (6)	49 (5)	46 (8)	148 (29)
親子関係	75 (18)	70 (21)	57 (10)	9 (5)	71 (15)	25 (6)	307 (75)
いじめ	0 (0)	0 (0)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	10 (10)
学習進路	32 (13)	51 (15)	14 (5)	32 (6)	2 (2)	21 (7)	152 (48)
身体健康	0 (0)	3 (1)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	3 (1)	13 (5)
その他	2 (1)	13 (3)	3 (2)	8 (4)	6 (3)	0 (0)	32 (13)
合計	625 (149)	453 (114)	263 (63)	296 (84)	376 (84)	285 (76)	2298 (570)

(4) 中学校スクールカウンセラーによる教育相談（県事業）

県スクールカウンセラー活動状況（相談延べ回数）＜平成29年4月～平成30年3月＞

内容分類 学年等		不登校	いじめ	暴力	虐待	友人・異性関係	貧困	非行	家庭環境	教職員との関係	心身の健康・保健	学業・進路	発達	その他	合計
		小学生	1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	1年	10	1	0	0	42	0	0	0	0	0	1	5	6	65
	2年	25	1	0	0	51	0	0	11	5	6	2	17	25	143
	3年	37	0	0	0	4	0	0	9	4	25	7	18	50	154
保護者		93	1	0	0	14	0	3	3	3	8	4	49	21	199
教職員		124	4	0	0	10	0	10	12	4	23	6	66	99	358
計		289	7	0	0	121	0	13	35	16	62	20	155	201	919

(5) 県スクールソーシャルワーカーによる活動（県事業、県統計分類による）

継続支援対象児童の抱える問題と支援状況（対応件数：県統計分類による）＜平成29年4月～平成30年3月＞

主な内容	学年	小学校						合計
		1	2	3	4	5	6	
①不登校		0	1	0	0	0	0	1
②いじめ		0	0	0	0	0	0	0
③暴力行為		0	0	0	0	0	0	0
④児童虐待		1	0	1	1	1	0	4
⑤友人関係の問題（②を除く）		0	0	0	0	1	0	1
⑥非行・不良行為（③を除く）		0	1	0	0	0	0	1
⑦家庭環境の問題（④を除く）		0	0	0	0	0	0	0
⑧教職員等との関係の問題		0	0	0	0	0	0	0
⑨心身の健康・保健に関する問題		0	0	0	0	1	0	1
⑩発達障害等に関する問題		0	0	0	1	0	0	1
⑪貧困の問題（⑦を除く）		0	0	0	0	0	0	0
⑫その他		0	0	0	0	0	0	0
合計		1	2	1	2	3	0	9

(6) 市スクールソーシャルワーカーによる活動

市SSW活動状況（対応件数）＜表面化している主な子どもの状態別：平成29年4月～平成30年3月＞

主な内容	学年	小学校						中学校			他	総計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3		
長期欠席		0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	6
欠席がち		0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
学校内での行動面		0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
非行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動化の未然防止		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
学習・進路		0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
その他		0	0	1	0	2	0	1	2	1	0	7
総計		0	2	1	0	3	3	5	4	5	0	23

*その他：子どもに表面的な問題なく、学校生活での心配はないが、家庭など環境要因が心配

*課題となる主な環境要因としては、養育環境や保護者の課題（精神面、考え方等）などが挙げられる

市SSW活動状況(延べ回数)＜支援内容別:平成29年4月～平成30年3月＞

支援内容		回数
直接支援	家庭訪問	173
	家庭との電話のやり取り	208
	保護者等来所(面談)	22
	学校での本人対応等	16
	支援機関同行等	17
間接支援	学校での打合せ・相談	113
	学校との電話のやり取り	158
	担任等来所	14
	関係課との相談・情報共有等	170
	ケース会議参加	24
	学校巡回	40
総計		955

(7) 適応指導教室学年別通室人数

＜平成29年4月～平成30年3月末＞

学年		正式通室者		体験通室者		小計		計	小中別	男女別	
		男子	女子	男子	女子	正式通室	体験通室			正式+体験	男
小学校	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	5	0	0	1	0	0	1	1		1	0
	6	1	0	0	1	1	1	2		1	1
中学校	1	0	1	0	0	1	0	1	10	0	1
	2	0	0	1	0	0	1	1		1	0
	3	1	6	0	1	7	1	8		1	7
計		2	7	2	2	9	4	13	13	4	9
28年度		4	3	1	1	7	2	9	9	5	4

(数字は実人数)

(8) 学生ボランティア活用状況

平成29年度は、合計16人の学生ボランティアを小中学校12校に派遣した。

10. 学 校 給 食

食 数

(H30. 5. 1現在)

区 分	学 校 数	学 級 数	給 食 数 (食)		
			児 童 ・ 生 徒	教 職 員	計
小 学 校	10	204	4,920	375	5,295
中 学 校	4	81	2,432	170	2,602
計	14	285	7,352	545	7,897

食 費

(H30. 5. 1現在)

区 分	小 学 校	中 学 校
一 食	259.7円	52.2円
月 額	4,250円	
年 額	46,750円	7,673円
年 間 回 数	180回	147回

小学校給食費の推移 (H30. 5. 1現在)

年度	1食あたり価格 (円)	月額給食費 (円)
昭和55～	165	2,700
58～	175	2,900
59～	177	2,900
62～	183	3,000
平成3～	208	3,400
9～	213	3,400
10～	226	3,700
20～	236	3,700
21～	241	3,950
27～	259	4,250

一食当たりの内訳 (H30. 5. 1現在)

区 分	小 学 校	中 学 校
		259.7円
主 食	35.96円	
牛 乳	52.2円	52.2円
お か ず	171.54円	

※月額給食費又は年間実施回数の変更による推移



11. 学 校 保 健

平成29年度 結核健康診断

問診票調査と内科検診により、結核健康診断の充実を図った。

(単位：人)

項目 学年	問診調査 実施者数	要精密 検査者数
小 学 校	1年	782
	2年	833
	3年	810
	4年	844
	5年	868
	6年	826
計	4,963	1
中 学 校	1年	798
	2年	839
	3年	819
	計	2,456

平成29年度 心臓検診結果

[対象者：小学校1年生、中学校1年生]

(単位：人、%)

	受検者数	要二次検診		判 定 会 結 果				
		検診者数	割合	異常なし	A~D	E	管理中	管理不要
小 学 校	784	48	6.1%	14	0	20	0	14
中 学 校	804	41	5.1%	1	1	26	0	13
合 計	1,588	89	5.6%	15	1	46	0	27

※指導管理区分 A：在宅医療・入院が必要 B：登校はできるが運動は不可 C：軽い運動は可 D：中等度の運動も可
E：強い運動も可 管理中：医療機関で管理中 管理不要：病名はあるが学校での管理不要

平成29年度 尿 検 査 結 果

[対象者：小学校全学年、中学校全学年]

(単位：人、%)

	受検者数	第 一 次 検 査 結 果						
		蛋白・潜血	蛋 白	潜 血	計	比 率	糖 陽 性	比 率
小 学 校	4,953	3	23	31	57	1.15%	2	0.04%
中 学 校	2,500	6	26	72	104	4.16%	0	
合 計	7,453	9	49	103	161	2.16%	2	0.03%

	判 定 会 結 果							
	異常なし	A	B	C	D	E	管理中	管理不要
小 学 校	2	0	0	0	0	5	0	2(1)
中 学 校	6	0	0	0	0	4	0	1
合 計	8	0	0	0	0	9	0	3

()は尿糖

※管理指導区分 A：在宅医療・入院が必要 B：登校はできるが運動は不可 C：軽い運動は可 D：中等度の運動も可
E：強い運動も可 管理中：医療機関で管理中 管理不要：病名はあるが学校での管理不要